



株式会社 昂

SUBARU BUSINESS REPORT



JASDAQ
証券コード9778

第60期 報告書

2017年3月1日～2018年2月28日



「人財」を育てたい。
 私たち昂は、
 二十一世紀社会に貢献できる



● 昂の指導理念

師、
 心に灯を
 ともす人

昂は、創業者である西村佳夫が鹿児島大学在学中に実家から送られてきた「りんご箱」で小さな学習塾を始めたことに端を発します。りんご箱から始まった学習塾は、1965年に「鶴丸予備校」として本格的な事業となり、当時全国でも10指に入る名門塾に発展し、1984年「受験ラサール」の開校を経て昂の礎が築られました。鶴丸予備校から現在に至るまで長い

日々培われた歴史も、「師、心に灯をともす人」このことばを指標として、生徒とともに精進してきました。昂は、受験勉強は真剣に取り組み、経験することによって価値があり、この間に迷い、悩みを克服し、目標達成するところに逞しい人間が形成されると考えます。私たち昂の全社員は、子どもたちが、大きな目標に向かって成長していくことを心から願っています。



● 使命観

日日是鍛錬

1. 学問や芸術を学び極める
2. 身体を鍛える
3. 意志を鍛える

「日日是鍛錬」は、昂に関わる全ての人の強力なバックボーンであり、昂の全社員がお預かりしたお子さまを、我が子我が事と思い厳しく指導にあたる事で、多くの皆様の信頼を得ています。子どもたちを取り巻く教育環境が大きく変わりつつある昨今においても、昂ではこの方向を見誤ることなく、子どもたちが必要とし、かつ学校では充分に出来ないことを追求していきたいと考えています。

社章



三人の力で構成されています。即ち、昂と生徒・保護者の三者の力を一つに合わせて、学力・気力・体力を培い、日日是鍛錬して社章の真ん中にあるダイヤモンドのように磨きぬかれた最高のものをめざします。



代表取締役社長
西村 道子
Michiko Nishimura



❁ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第60期（平成29年3月1日から平成30年2月28日まで）報告書を作成いたしましたので、ご高覧くださいませようお願い申し上げます。

❁営業の概況

当事業年度におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に雇用環境の改善が続いており、一部には遅れがみられるものの緩やかな回復基調にあります。東アジア、中東地域などの地政学リスクもあり、引き続き留意を要する状況で推移いたしました。

少子社会において学習塾業界では、合併・買収が相次ぎ、今後、大掛かりな再編の波が訪れるのではないかとという見方もでています。

このような状況下において、当社は独自路線を貫き、業績に関しては、期待値を上回る成績向上と第一志望校合格を実現させ、さらには教室環境の改善により生徒、保護者の満足度向上を図り、特に経営地盤である鹿児島、宮崎における圧倒的地域ナンバーワンの実績構築に注力いたしました。

事業展開としては、個別指導大塚教室（宮崎県宮崎市）を需要の多い高校生のニーズに対応するため東進衛星予備校へ転換いたしました。また経営資源の効率的運用のため、7月に姪浜校および個別指導姪浜教室（福岡県福岡市）を近隣の教室へ統廃合いたしました。

そのほか、再開発が進み、若年層の人口増加が見込まれる鹿児島市北部に位置する吉野地区の今後の街づくり計画を踏まえ、吉野校を新築移転いたしました。

生徒構成においては、小学部では好調な「キッズくらぶ」に加え、通常コースも堅調に推移しました。中学部では通常コースはやや減少いたしました。前年度導入いたしました、中学1、2年生を対象とした受講科目の少ないコースは、潜在的需要を掘り起こし、前年実績を上回り順調に推移いたしました。

また東進衛星予備校を運営する高等部においては新設校1校を加えたことが寄与し前年実績を上回り推移いたしました。一方、個別指導部では前述のとおり、2教室減少したこともあり前年実績を回復するまでには至りませんでした。

この結果、当事業年度の売上高は34億61百万円（前期比0.4%増）、営業利益2億68百万円（前期比11.3%増）、経常利益2億95百万円（前期比9.7%増）となりました。また、熊本地震の災害復旧補助金等の特別利益として43百万円を計上した一方で、減損損失、店舗閉鎖損失等、計60百万円を特別損失として計上したことにより、当期純利益は1億67百万円（前期比448.3%増）となりました。

❁対処すべき課題

私どもが認識している当面の課題と中長期的な課題は次のとおりです。

①社員が働き甲斐を持てるための環境改善と基本の徹底

楽しく働ける職場を目指して、引き続き諸制度の見直しや環境改善を図ってきました。

また、組織が大きくなるに従って、組織の末端まで当社の基本的考え方が浸透しているとは言えない状況にあるので、世界に通用する人材を育てるために、組織の強化と基本の徹底を図っていきます。

②採用活動の強化

少子化や東京オリンピックの影響もあり、人員確保が難しい状況が続いています。それに対応して有能な人材を確保するために、人事採用担当の人員を増員してきました。また今後しばらくは採用が難しい時代が続くと予想されますので、アルバイト講師からの社員化や採用媒体の多様化などにより、有為の人材確保に尽力してまいります。

③スクラップ＆ビルドの強化

当社が教室を展開している九州は、少子高齢化のスピードが速い地域です。そのため今後、閉鎖・統合しなければならない教室もでてくるのが予想されます。そういう中でも人口が増加している地域もあり、また行動スタイルにも変化が起きている状況を踏まえ、移転や新規教室の展開などを積極的に進めてまいります。

④県立高校の定員割れ問題

当社が本社をおく鹿児島県においては、今春、公立高校の競争率が0.89という、人財育成上、疑問の残る倍率となりました。勉強しなくても公立高校に入学できるため、小学校時代から勉強しない風潮が根付いてしまうのではないかと危惧しております。実際、首都圏との教育上の地域格差はますます拡大の一途を辿っています。

AI（人工知能）の時代に突入し、2045年には「シンギュラリティ（技術的特異点）」が起こると言われており、未来を創り、未来を生きる子どもたちの将来は、人間らしさの育成と基礎基本の土台をかためた上で、しっかり勉強させることが欠かせません。

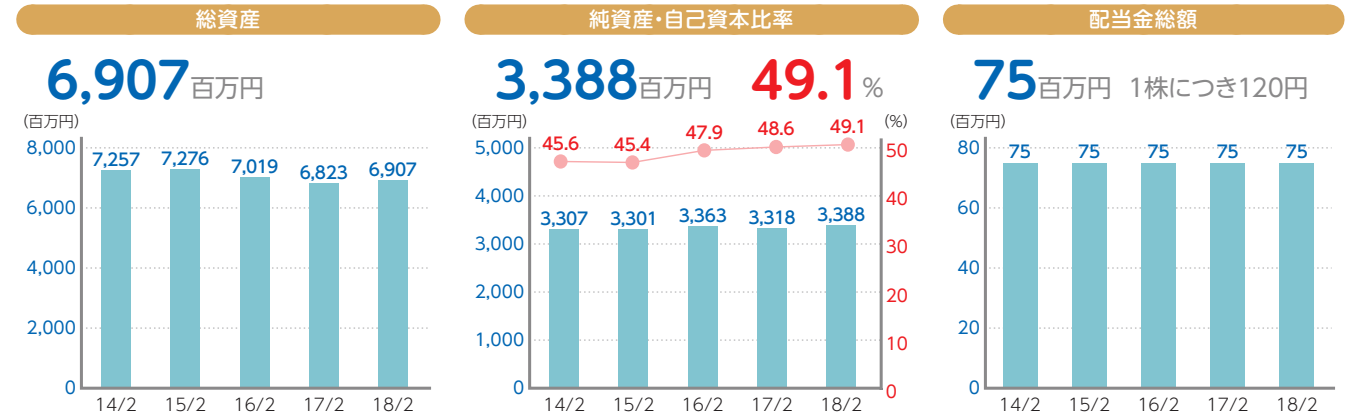
これまで、公立高校の定員割れを解消するために、関係機関に対し、「1クラスの定員を一律40人から柔軟に運用して」ほしい旨の働きかけを続けていますが、残念ながら実現しておりません。このままでは、人材が育ち難くなり、九州各県延いては日本の衰退を招くことがないよう、今後も発信を続けてまいります。

⑤成績アップと授業形態の多様化

基礎基本が身につけていない生徒が多数存在しているのが現状です。当社としては学習塾の本来の目的である成績アップと第一志望校合格を実現させるため、成績上位生は学問の楽しさを知るレベルまで、また基本が必要な生徒については、やり抜く力を身につけつつ、学年で持つべきレベルまで鍛える態勢を整えました。

また離島を含む地方の教育環境の劣化が進んでいます。向上心のある児童・生徒について人員を沢山割くことなく学力向上を図る教室運営の方法の模索を続けてまいります。

❁主要な経営指標



公立高校の部

鹿 児 島	鶴丸	定員 320名	169名	定員 320名	139名
	甲南		139名		139名
宮 崎	宮崎西	理数科	28名	宮崎大宮	32名
	宮崎大宮	文情科	32名		32名
熊 本	熊本		20名	済々黷	17名
	済々黷		17名		17名
福 岡	修猷館		12名	城南	6名
	城南		6名		6名

私立中・高校の部

灘	高	3名
ラ・サール		46名
久留米大附設		27名
東大寺学園		4名

その他首都圏・関西圏の難関校

開成	中	東京学芸大附属高
麻布	中	青山学院高
渋谷幕張	中	国際基督教大学高
渋谷女子	中	都立西高
豊島岡女子	中	都立国際高
早稲田	中	都立西大和学園高
浅野	中	他多数
高槻	中	他多数

国公立小・中学の部

鹿大附属小・中	199名
宮大附属小・中	154名
熊大附属小・中	68名

公立中高一貫校

鹿児島玉龍中	73名
楠隼中	24名
宮崎西高附属中	54名
都城泉ヶ丘高附属中	28名

大学の部

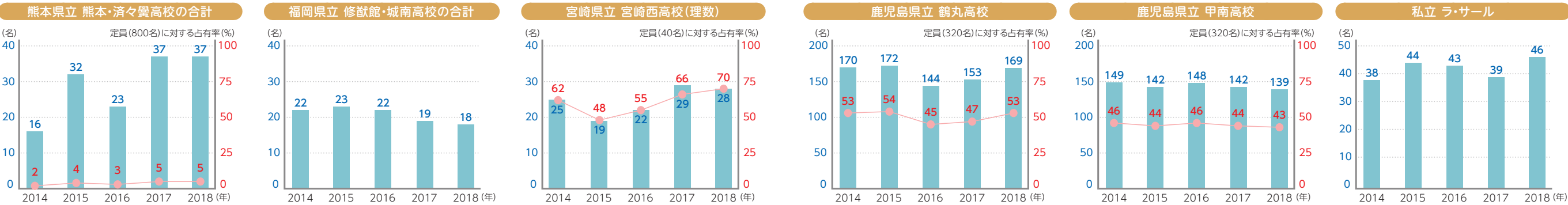
国公立大学

東京大	筑波大	宮崎大
京都大	千葉大	大分大
大阪大	東京農工大	防衛医科大
名古屋大	東京学芸大	防衛大
北海道大	電気通信大	岐阜薬科大
九州大	広島大	京都府立大
お茶の水女子大	熊本大	九州工業大
東京医科歯科大	鹿児島大	
東京外国語大	長崎大	他多数

私立大学

慶應義塾大	法政大	同志社大
早稲田大	青山学院大	立命館大
上智大	中央大	西南学院大
東京理科大	学習院大	福岡大
明治大	関西学院大	南山大
立教大	関西大	他多数

有名校の合格者推移



*合格者数は卒業時まで在籍した生徒に限定して集計してあります。



昴では、皆様から
様々なご意見をいただき、
子どもたちの指導に
役立てています。



個別谷山教室

こんにちは。いつもお世話になります。個別教室の指導記録に記載される文章を子供と毎週一緒に読みます。内容の感想を話すことができて楽しい時間です。子供も指導を受けた事を思い出し話をしてくれます。文章を書く先生方の思いが繰返し読むことで心に響きます。できることから学習の実践になって行きます。これからも続けて記載して下さい。よろしくお願いします。

すばるアカデミー城西教室

5月に、10日ほど盲腸で入院しました。そんな中、城西教室の〇先生から励ましのメッセージをもらい、照れながらもうれしそうにしていました。塾以外でも気にかけて頂き、子供にとっては不安な入院生活の中で、とても心強い応援になったのではないのでしょうか。そして、退院してから塾の初日。とてもうれしそうにすばるに出かけて行きました。日頃から信頼関係を築いてくださる先生に感謝です。

大塚校

いつもお世話になってます。子供を昴にむかえに行くと、先生方がそろってあいさつをして下さいます。特に担当だったK先生は笑顔が素敵で、面談の時も親身になって話を聞いて下さり、とても安心して子供を預けることができました。子供も意欲を持って学習に取り組むことができています。これからも親子共々、よろしくお願いします。

甲南校

「楽しい!」とびっくりするくらいの声で初日の昴から帰ってきた娘(小1)。テキストを見ると、青ペンの丸がいくつか…。何度か書き直して、やっともらえた青色の丸。この“青色の丸”が、親の私はとてもうれしいです。つまり、考え直して、答えを見つけた娘の嬉しさが伝わります。約1ヶ月経ち、まちがったところが「わかる」に変わっていく楽しさを教えてくださり、ありがとうございます!!!

大淀校

私は、全教科の担任の先生がおもしろくて、毎回楽しみです。分からないところは教えてくれて、わかりやすいです! 今回、月例テストは前より良い点数がとれたと思います。とくに、ライセンス! 紙にもはり出され、スゴク嬉しかったです。
I 先生へ いつもおもしろく、わかりやすく教えて下さりありがとうございます!
O 先生へ 一人一人を良くみてくれて、ありがたいです。(笑)
F 先生へ Tくんというコンビでいつも笑わせてくれて感謝です。(笑)
I 先生へ 私も大阪の血が流れてますので、先生の関西弁の意味は私が良くなってと思います。おもしろく教えてくださりありがとうございます。(笑)
宮学の特待生で合格!! と部屋のカベにはってあります。(笑)けいたいの画面も、LINEのアイコン(ホーム)も合格!! の画像です。とにかく、私の目標は、「落ち着いて、しっかりと、あわてずに」です。ガンバリます!

西新校

難関中チャレンジテストの点数が良くて先生に褒められたから、もっとテストでいい点を取れるように特に苦手教科を勉強しようと思った。

大宮校

1年生の時から、家庭教師や塾にずっと行かせていたんですが、なかなか結果を実感することが出来ないまま、4年生が終わってしまいました。4年生のCATテストが平均点より悪かったことを機に昴にお世話になることを決めました。4月の春休みからのスタートで、すぐに辞めたいと言うのではと心配していたのですが、宿題も自分から進んでしていくこと、昴に遅刻をしたくないから早目に行きたいとか、4・5日したら言うようになりました。そして、今までは(すべての塾が個別だったので…)僕が疲れてる眠いと言うと寝せてくれたとカミングアウトされ(笑) でも昴は寝れないし、この問題を5分でとか時間が決まると楽しそうに目をキラキラさせて話してくれました。勉強を意欲的に取り組んでいるように初めて感じています。

教室ロケーションの改善

人口構成、年齢構成および交通環境を含めた社会環境は刻々と変化し続け、開校当初は最適とされた地域、場所も学習塾の運営には、やや不適になってくることもございます。

生徒の通いやすさ、保護者の送迎の安全性、利便性を検討しながら、最適なロケーションを求め、時代とニーズに応じた教室運営を継続して行っておりま

2017年11月に移転、新築した吉野校（鹿児島市）



部門別売上高構成明細

(百万円)						
	当期 (30/2月期)	構成比	前期 (29/2月期)	構成比	増減額	増減率
売上高	3,461	100.0%	3,446	100.0%	15	0.4%
幼児・小学部	1,041	30.1%	985	28.6%	55	5.6%
中学部	1,916	55.3%	1,948	56.6%	△31	△1.6%
高等部	169	4.9%	162	4.7%	7	4.4%
個別指導部	216	6.3%	235	6.8%	△18	△8.0%
その他*	117	3.4%	114	3.3%	2	2.6%

※その他は、合宿収入等であります。

表示単位未満の数値は切捨て表示し、百分率は四捨五入表示しております。

地域別売上高構成明細

(百万円)						
	当期 (30/2月期)	構成比	前期 (29/2月期)	構成比	増減額	増減率
売上高	3,461	100.0%	3,446	100.0%	15	0.4%
鹿児島県	1,936	56.0%	1,955	56.8%	△18	△0.9%
宮崎県	981	28.4%	945	27.4%	35	3.8%
熊本県	395	11.4%	385	11.2%	10	2.6%
福岡県	146	4.2%	158	4.6%	△12	△7.6%

表示単位未満の数値は切捨て表示し、百分率は四捨五入表示しております。

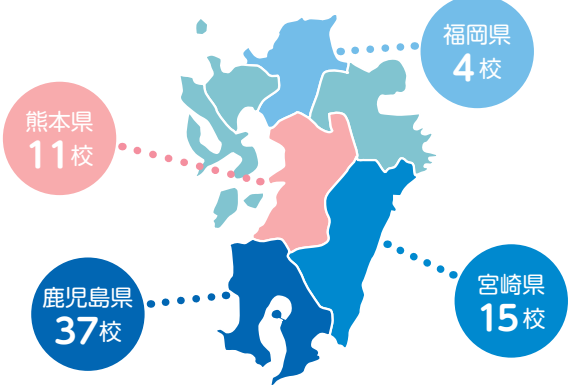


	
新上橋校	☎(代)099-252-3656
鴨池校	☎(代)099-255-1251
甲南校	☎(代)099-256-1771
紫原校	☎(代)099-256-1851
上町校	☎(代)099-247-4321
和田校	☎(代)099-267-2281
吉野校	☎(代)099-244-2756
玉里校	☎(代)099-229-0778
桜ヶ丘校	☎(代)099-275-1822
中山校	☎(代)099-260-7077
玉江校	☎(代)099-295-3202
皇徳寺校	☎(代)099-275-2366
西原校	☎(代)099-43-9998
始良校	☎(代)099-65-6014
寿校	☎(代)099-43-6500
川内校	☎(代)099-25-3816
川内北校	☎(代)099-20-3380
加治木校	☎(代)099-62-3313
国分校	☎(代)099-47-0740
出水校	☎(代)099-63-8751
加世田校	☎(代)099-53-5334
志布志校	☎(代)099-473-3813
名瀬校	☎(代)099-54-0360
枕崎校	☎(代)099-73-2555
伊集院校	☎(代)099-273-0609

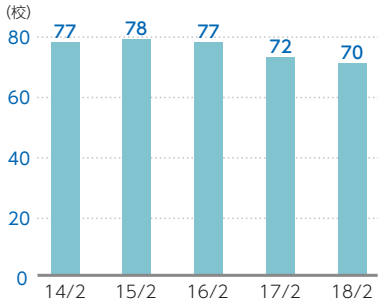
隼人校	☎(代)099-43-5201
指宿校	☎(代)099-22-6100
フレスポ国分校	☎(代)099-73-4630
大塚校	☎(代)098-50-5350
大淀校	☎(代)098-50-7335
大宮校	☎(代)098-38-8258
加納校	☎(代)098-85-4415
浮城校	☎(代)098-61-8211
都城校	☎(代)098-26-4450
西都城校	☎(代)098-24-5755
小林校	☎(代)098-23-1124
延岡校	☎(代)098-22-0805
日向校	☎(代)098-54-1219
武蔵ヶ丘校	☎(代)096-339-5413
健軍校	☎(代)096-369-3440
八代校	☎(代)096-33-4400
宇土校	☎(代)096-22-8222
玉名校	☎(代)096-72-0711
菊陽校	☎(代)096-233-3337
大津校	☎(代)096-293-7688
西新校	☎(代)092-833-8331
室見校	☎(代)092-844-8585
 個別指導	
鴨池教室	☎(代)099-285-3511
中央教室	☎(代)099-812-6336

谷山教室	☎(代)099-260-9588
玉江教室	☎(代)099-295-3220
橘教室	☎(代)098-60-5213
水前寺教室	☎(代)096-386-5558
武蔵ヶ丘教室	☎(代)096-348-7533
けやき通り教室	☎(代)096-370-8688
西新教室	☎(代)092-852-1651
鳥飼教室	☎(代)092-832-5155
 受験ラサール	
加治屋(中学部)	☎(代)099-222-6637
加治屋(小学部)	☎(代)099-222-5345
谷山	☎(代)099-268-1381
宮崎(中学部)	☎(代)098-31-0033
宮崎(小学部)	☎(代)098-29-0131
水前寺	☎(代)096-385-8801
 すばるアカデミー	
城西教室	☎(代)099-203-0919
 高等部 東進衛星予備校	
鹿児島中央町	☎(代)099-230-7154
加治木	☎(代)099-73-5090
宮崎橘	☎(代)098-65-8577
都城	☎(代)098-46-5228
宮崎大塚	☎(代)098-65-5277

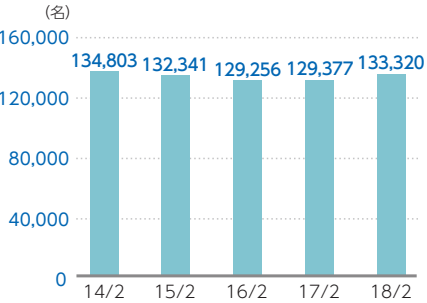
所在地別校舎数 (2018年5月現在)



校舎数推移



生徒総数推移



株主優待制度

昂では、株主の皆様への利益還元策の一環として、株主優待制度を設けています。

中間期末

毎年8月31日現在の株主の皆様に対して、利益還元策の一環として「青森産りんご」を毎年12月(旬の時期)にお贈りしております。
風邪を予防する働きがあると言われるビタミンCやAなどが豊富に含まれる、天然の健康食品・りんごの味覚をお楽しみください。

優待制度の内容

所有株式数100株(1単元)以上は3kg、500株(5単元)以上は5kgの青森産りんごを贈呈。



期末

毎年2月末日現在の株主の皆様に対して、利益還元策の一環として「株主ご優待券」を贈呈させていただきます。是非ともお役にくださるようお願い申し上げます。

優待制度の内容

- 1. 所有株式数100株(1単元)以上は、5,000円の優待券を、500株(5単元)以上は、10,000円の優待券を贈呈。
- 2. 優待券は、昂の全教室(東進衛星予備校を除く)で入学金、受講料などのお支払いにご利用いただけます。
- 3. 2018年6月1日から2019年5月31日まで1年間有効。
- 4. 本券と現金の引換えはいたしません。
- 5. 盗難、紛失等による再発行はいたしません。





BS 貸借対照表 (単位:百万円)

科目		当期 平成30年2月28日	前期 平成29年2月28日
資産の部	流動資産	369	354
	固定資産	6,537	6,468
	資産合計	6,907	6,823
負債の部	流動負債	1,452	1,522
	固定負債	2,065	1,983
	負債合計	3,518	3,505
純資産の部	株主資本	3,380	3,288
	資本金	990	990
	資本剰余金	971	971
	利益剰余金	1,933	1,840
	自己株式	△515	△514
	評価・換算差額等	8	29
	純資産合計	3,388	3,318
負債純資産合計		6,907	6,823

CF キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成29年3月 1日から平成30年2月28日まで	平成28年3月 1日から平成29年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	365	290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△251	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133	△265
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	△18	9
現金及び現金同等物の期首残高	161	152
現金及び現金同等物の期末残高	143	161

PL 損益計算書 (単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成29年3月 1日から平成30年2月28日まで	平成28年3月 1日から平成29年2月28日まで
売上高	3,461	3,446
売上原価	2,604	2,622
販売費及び一般管理費	588	582
営業利益	268	240
営業外収益	38	41
営業外費用	10	13
経常利益	295	269
特別利益	43	13
特別損失	60	155
税引前当期純利益	278	127
法人税、住民税及び事業税	117	101
法人税等調整額	△7	△4
当期純利益	167	30



❀ 会社概要 (2018年2月28日現在)

社 名	株式会社 昂
本社所在地	〒892-0846 鹿児島県鹿児島市加治屋町9番1号
電 話 番 号	099-227-9500
設 立	昭和47年7月
資 本 金	9億9,075万円
従 業 員 数	286名
事 業 内 容	当社は、幼児、小学1年生から中学3年生までの児童・生徒および高校生を対象とする学習塾であります。

❀ 役員状況 (2018年5月23日現在)

代 表 取 締 役 社 長	西村 道子	社外取締役(常勤監査等委員)	柴垣 悦朗
代表取締役副社長	西村 秋	社外取締役(監査等委員)	宮川 秀樹
取 締 役	毛利 寿男	社外取締役(監査等委員)	末永 隆
取 締 役	立山 政俊		

❀ 株式の状況 (2018年2月28日現在)

発行可能株式総数	1,500,000株
発行済株式の総数	693,576株
株 主 数	731名

❀ 大株主 (上位11名)

株 主 名	持株数(百株)	持株比率(%)
有限会社学友社	2,567	40.9
西村 秋	460	7.3
西村道子	389	6.2
資産管理サービス信託銀行株式会社	360	5.7
株式会社鹿児島銀行	310	4.9
株式会社南日本銀行	214	3.4
昂取引先持株会	149	2.3
昂社員持株会	103	1.6
佐藤兼義	101	1.6
株式会社宮崎銀行	90	1.4
三菱UFJ信託銀行株式会社	90	1.4

(注)持株比率は、自己株式(66,514株)を控除して計算しております。

❀ 株式分布状況 (2018年2月28日現在)



昂のリアルタイム情報を当社のホームページでご覧いただけます。→ <http://www.subaru-net.com>

株主メモ

事業年度 3月1日～翌年2月末日

期末配当金受領株主確定日 2月末日

中間配当金受領株主確定日 8月31日

定時株主総会 毎年5月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送先) 〒137-8081

同連絡先

新東京郵便局私書箱第29号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

午前9時から午後5時まで(土日、祝日を除く)

上記電話番号をご利用いただけない場合 03-6701-5000 (通話料有料)

上場証券取引所 株式会社 東京証券取引所 JASDAQ市場

公告の方法

公告掲載URL <http://www.subaru-net.com>
(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じた時には、
日本経済新聞に公告いたします。)

単元株式数 100株

！ ご注意

1. 株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9778

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900 (平日 10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com